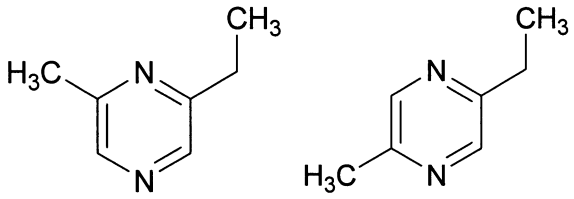
第２のＤの２－エチル－５－メチルピラジンの目の次に次の１目を加える。

２－エチル－６－メチルピラジン

２－Ethyl－６－methylpyrazine



$C_7H_{10}N_2$　　分子量　122.17

Mixture of ２－ethyl－６－methylpyrazine and ２－ethyl－５－methylpyrazine　［36731－41－６］

定　　義　本品は，２－エチル－６－メチルピラジン及び２－エチル－５－メチルピラジンの混合物である。

含　　量　本品は，２－エチル－６－メチルピラジン及び２－エチル－５－メチルピラジン（$C_7H_{10}N_2$）の合計量として95.0%以上を含む。

性　　状　本品は，無～微黄色の透明な液体で，特有のにおいがある。

確認試験　本品を赤外吸収スペクトル測定法中の液膜法により測定し，本品のスペクトルを参照スペクトルと比較するとき，同一波数のところに同様の強度の吸収を認める。

純度試験　⑴　屈折率　n_D^{20}＝1.492～1.502

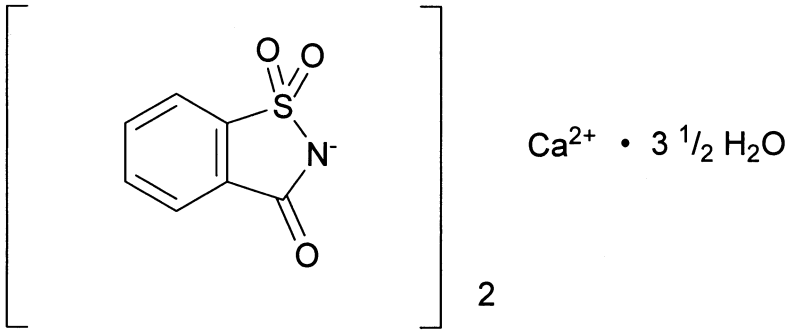
⑵　比重　d_{25}^{25}＝0.960～0.973

定 量 法　香料試験法中の香料のガスクロマトグラフィーの面積百分率法の操作条件⑴により定量する。

第２のＤのサッカリンの目の次に次の１目を加える。

サッカリンカルシウム

Calcium Saccharin



$C_{14}H_8CaN_2O_6S_2 \cdot 3\frac{1}{2}H_2O$　　分子量　467.48

Calcium bis（３－oxo－３*H*－１，２－benzothiazol－２－ide）１，１－dioxide hemiheptahydrate　［6381－91－５］

含　　量　本品を乾燥したものは，サッカリンカルシウム（$C_{14}H_8CaN_2O_6S_2$）98.0%以上を含む。

性　　状　本品は，白色の結晶又は結晶性の粉末である。味は極めて甘い。

確認試験　⑴　本品の水溶液（１→10）10mlに塩酸１mlを加え，生じた結晶性の沈殿をろ取し，冷水でよく洗い，105℃で２時間乾燥し，融点を測定するとき，融解し始めの温度は226℃以上であり，融解し終わりの温度は230℃以下である。

⑵　本品0.02ｇにレゾルシノール0.04ｇを混和し，硫酸10滴を加え，200℃で３分間加熱する。冷後，水10ml及び水酸化ナトリウム溶液（１→25）10mlを加えるとき，液は，緑色の蛍光を発する。

⑶　本品0.1ｇに水酸化ナトリウム溶液（１→25）５mlを加えて，穏やかに加熱して蒸発乾固し，更に炭化しないように注意しながら融解し，アンモニアのにおいが発しなくなるまで加熱を続ける。冷後，水約20mlを加えて，塩酸（１→10）で弱酸性とした後，ろ過し，ろ液に塩化鉄（Ⅲ）溶液（１→10）１滴を加えるとき，液は，紫～赤紫色を呈する。

⑷　本品は，カルシウム塩の反応を呈する。

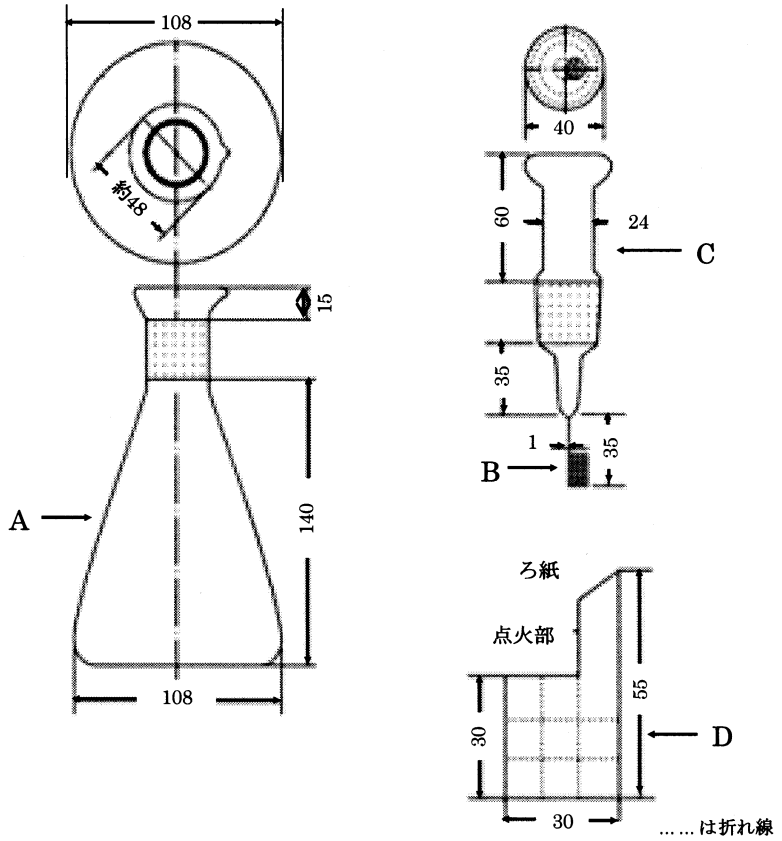
純度試験　⑴　鉛　Pbとして1.0μg／ｇ以下

本品2.0ｇを量り，300mlのケルダールフラスコに入れ，硝酸10ml及び硫酸５mlを加えて，茶褐色の煙が発生し，更に溶液が淡黄色になるまで加熱する。冷後，塩酸（１→４）10mlを加えて，15分間煮沸し，冷後，試料液とする。試料液に，クエン酸水素二アンモニウム溶液（１→２）10mlを加え，アンモニア水で弱アルカリ性とする。冷後，この液を200mlの分液漏斗に移し，ケルダールフラスコを水で洗い，洗液を分液漏斗に合わせ，約100mlとする。ピロリジンジチオカルバミン酸アンモニウム溶液（３→100）５mlを加えて５分間放置し，酢酸ブチル10mlを加えて５分間振とうした後，放置する。その後，酢酸ブチル層をとり，これを検液とする。別に，鉛標準原液１mlを正確に量り，水を加えて正確に100mlとする。この液２mlを正確に量り，試料液と同様に操作し，比較液とする。検液及び比較液につき，鉛試験法第１法により試験を行う。

⑵　セレン　Seとして30μg／ｇ以下

ⅰ　装置

概略は，次の図による。



（単位　mm）